

会 議 録

会議名 (審議会等名)		平成 28 年度 第 4 回 相模原市経営評価委員会				
事務局 (担当課)		経営監理課 電話 0 4 2 - 7 6 9 - 9 2 4 0 (直通)				
開催日時		平成 28 年 9 月 1 日 (木) 18 時 30 分 ~ 19 時 50 分				
開催場所		相模原市役所 本館 2 階 第 1 特別会議室				
出席者	委員	9 人 (別紙のとおり)				
	市					
	事務局	5 人 (経営監理課長 他 4 人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0 人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 議事 (1) さがみはら都市経営指針実行計画 平成 27 年度取組結果評価 に関する建議書案について (2) その他				

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

1 議事

(1) さがみはら都市経営指針実行計画 平成27年度取組結果評価に関する建議書案について、事務局より概要を説明した。

(以下、質疑応答・意見交換 は委員の発言、 は事務局の発言)

【 2 街美化アダプト制度の推進】

取組に対する意見の「街美化活動に対して市が報酬を支払うなど、…」について、これは欧米で広がりを見せているBID (Business Improvement District) 制度のようなコミュニティビジネスをイメージしている。例えば、市民等から街美化活動に対して上乗せで税を徴収し、自治体が活動団体に対価を支払う制度などを念頭に置いていることから、単に街美化活動に対して市が報酬を支払うのではなく、地域全体で街美化の取組を進めていくことが意見の趣旨であるので、文言の修正をしていただきたい。○現行のアダプト制度においては、活動団体に対価を支払うような手法の導入は難しいのではないかと。

○全国的に街美化活動や自治会活動などの多くがボランティアに依存しており、人材の確保にも苦慮している。例えばマンションでは住人が管理費を支払い、管理組合が美化・清掃を民間に任せているように、街美化という地域活動に対して費用を負担するという考え方を検討してもよいのではないかと。

対価の支払いにこだわらないが、活動に対する目に見える形での何らかの支援があるとよい。

アダプト制度の対象団体は、原則として5名以上であるが、老人クラブの高齢化などにより活動が困難になり、辞退につながっているような実態がある。今後、アダプト制度の対象とされている公園や緑道、道路等を含めた全ての公共的空間をどのように維持管理していくのかという問題の解決に向けて、魅力ある制度づくりを検討していただきたい。また、市への提出書類を簡素化するなど、事務負担の軽減を図っていただきたい。

ご意見を踏まえて建議書案の文言を修正させていただく。

【 7 時間外勤務時間削減プロジェクト】

C評価となった場合、その後、評価や意見を踏まえた方策はどのように図られるのか。すべての取組結果評価が確定し、建議された後、担当課が今後の改善に向けた対応方針を作成し、公表を予定している。

時間外勤務時間は、これまでもご指摘があったとおり、法改正や災害への対応などの

外的な要因により大きく変動するにもかかわらず、総時間数を成果指標としたことに課題があった。次期実行計画では、本委員会での意見も踏まえ、時間外勤務時間の削減を含めたワーク・ライフ・バランスの推進の取組の掲載を検討しており、適切に取組を評価できるような指標としたいと考えている。

時間外勤務時間の100,000時間削減という目標値は達成困難と見込まれることから、C評価とせざるを得ない。

明らかに目標達成が困難な取組について、当初設定した指標や目標値のまま取組を継続すると適切な進行管理ができないため、その場合は、指標や目標値を現実的なものに変更していく必要があるのではないかと考えている。

次期実行計画の作成に当たって、そのような課題に対する対応は検討しているのか。

現実行計画では、当初設定した指標や目標値は、市民へご意見を伺うパブリックコメントを実施していることから、行政の都合だけでは変更しないこととしているが、次期実行計画では、外的な要因を受けるなどのやむを得ない場合に限り、経営評価委員会の同意を得た上で変更できるような仕組みの見直しなどを検討していきたいと考えている。

特にC評価となったものは、指標や目標値を含めて取組全体の見直しを図りつつ進行管理を行うことで、より適切なPDCAマネジメントサイクルにつながるのではないかと考えている。

いただいたご意見を踏まえて、今後検討する。

【 14 低未利用資産の活用】

・特になし

【 17 パークマネジメント計画の策定と実施】

・特になし

【 18 災害発生時の生活に必要な食料等の流通備蓄の導入】

マンション等の建築確認申請時に、防災備蓄倉庫等を設置して容積率の緩和を受けられる制度を実際に活用している自治体はあるのか。

川崎市では、高層集合住宅の震災対策に関する施設整備要綱に基づき、高層マンションへの防災備蓄倉庫や防災対応トイレの設置を推進しており、設置した場合、容積率の算定対象延床面積から対象箇所の延床面積が除外される仕組みとなっている。

川崎市では、市は民間活力を活用して、地区の防災力強化を図っている。具体的には、環境への配慮や都市の成長に資する優良な拠点開発等を誘導するため、高度利用地区や再開発等促進区を定める地区計画を対象として、環境配慮や都市機能、都市防災、都市空間の視点から民間のまちづくりを総合的に評価し、帰宅困難者受入れスペースや地域防災備蓄倉庫等を設置した建物について、評価区分に応じて容積率を緩和

するなどのインセンティブを与える容積率特例制度等の運用についてのガイドラインを定めているので、参考にさせていただきたい。

【 19 国民健康保険事業特別会計の健全化】

この取組は、新たな目標設定をすることを目標としながら、国の制度改正への対応など外的な要因により目標設定ができないまま3年が経過し、C評価が続いていることから、当初設定した指標や目標値を現実的なものに変更していく必要があるのではないか。

次期実行計画では、国民健康保険事業特別会計の財政健全化に向けて、一般会計からの法定外繰入額を計画的・段階的に縮小する目標指標の設定を検討している。

国の制度改正など外的要因の影響を受けた場合であっても、本市の取組内容について客観的な視点で評価できる適切な目標指標を設定していただきたい。

例えば、交通事故を最小にするという取組の場合、市単独で目標を達成することは難しいものの、関係機関と連携を図りつつ市の役割においてできる取組があることから、外的要因の影響を受ける場合であっても、課題の解決に向けて市ができる取組を精査していただきたい。

いただいたご意見を踏まえて、建議書案の文言を修正させていただくとともに、次期実行計画の指標設定については、今後検討する。

【 24 有料広告掲載業務への民間活力の導入の拡大】

・特になし

【 27 公立保育所の民営化】

制度改正によるやむを得ない事情により目標達成が困難な状況だが、そのような状況においても、市として取り組めることはあるのか。

制度改正の状況や多様化する保育ニーズ、少子化の進行状況を踏まえて、公立保育所のあり方や役割を検討する必要があり、検討体制の整備を進めているところである。

【 34 情報システム最適化の推進】

・特になし

【 38 市単独事業の扶助費等の見直し】

・特になし

【 45 戦略PRの展開】

民間のアンケート調査結果の順位を成果指標とすることは、本市の魅力度の向上に

必ずしも結びつかないことから、次期実行計画では指標の見直しが必要ではないか。
いただいたご意見を踏まえて、今後検討する。

これまでの様々な意見を踏まえ、局評価はB評価であるが、委員会評価はC評価とする。

【全体意見】

建議書案で広域交流拠点の取組について触れているが、今後、本市が持続可能で成長し続ける都市となるための大きな取組となることから、もう少しわかりやすく丁寧な表現とするべきである。

現実行計画の中で、以前はB・C評価だった取組が、本委員会での評価や意見を受けてA評価となった取組はあるのか。

平成25年度がB・C評価で平成26年度にA評価となった取組は、債権回収の強化など4項目、平成26年度がB・C評価で平成27年度にA評価となった取組は、受益者負担の適正化の推進など3項目である。

外部組織である本委員会における審議を踏まえて、取組が遅れていた項目が進められたことは、一定の評価ができるのではないか。

いただいたご意見を踏まえて、文言を修正させていただく。

本日の意見を踏まえて、事務局が答申案を修正することとし、今後、答申の最終調整については、委員長一任とさせていただきたいがよろしいか。

了承する。

(2) その他

次回委員会の開催は、平成28年10月7日(金)とする。

以上をもって、本日の議題は終了とする。

相模原市経営評価委員会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	山口 由紀子	相模女子大学人間社会学部教授	委員長	出席
2	田所 昌訓	相模原市自治会連合会会長	副委員長	出席
3	川崎 一泰	東洋大学経済学部教授		出席
4	出雲 明子	東海大学政治経済学部准教授		出席
5	霧生 卓	公認会計士		欠席
6	清水 良則	相模原商工会議所青年部		出席
7	櫻井 正友	公募委員		出席
8	澤野 光晴	公募委員		出席
9	高橋 静子	公募委員		出席
10	水戸 隆	公募委員		出席